

Weekly Report

2025-26

よいことのために手を取りあおう

創立 / 1965年5月22日

例会日 / 毎週木曜日 PM12:30～

会場 / 江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金112
0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F

TEL / 0587-55-6554

FAX / 0587-59-7720

URL / <https://www.kounan-rc.com/>

Mail / kounanrc@beach.ocn.ne.jp

会長/沢田 昌久 幹事/尾関 育良 会報委員長/野々垣 裕司



2025年(令和7年) 7月31日(木) 晴れ 第2844回(当年度第4回)例会

点 鐘
司 会

ロータリーソング斉唱
四つのテスト斉唱

会長 沢田 昌久君
SAA 川崎 良一君
「日も風も星も」
濱島 聡一郎君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介



豊川RC 清水 宏臣様



豊川RC 安田 守一様



愛知友愛RC 小田 純也様

会長挨拶

会長 沢田 昌久君



なぜだろう？ なぜこうなるのか？ なぜうまくいかないんだ？

このような言葉を5回繰り返すと本当の理由が見えてくるものらしい。

これは、元トヨタ自動車の張 富士夫社長が、よく口にしていた言葉です。

技術屋あがりだけに、ボルトの緩みに気づいた時、きちんと締めなおしただけで済ませては駄目だ。

なぜ、ボルトが緩んだのかそのことを追求してこそ、本当の理由を見つけ出し、解明しない事には、解決はしないものだと言われています。

目先の問題さえ片付けば良いというものでは無く、これは問題解決の対策にはなっていないということです。

もともと人間は失敗をする生き物なので、まあいいかで済ましてしまうと、何ら解決にもつながらず、しいてはとんでもない事故につながったりします。知恵があり賢い人であれば、失敗から何かを学ぶはずですし、賢くなくても学ばなくてはなりません。

組織の問題、自らの仕事の問題にも、ふと気になったことを、そのままにしておいて(まあいいか)で済ましてしまうことも良くありません、後で大事(おおごと)になり取返しのつかないことになりかねないからです。ぜひ、皆さんもこの「なぜだろう」を考えてみることで、何か問題解決の道がきっと開くことができるんじゃないでしょうか。

前年度出席100%表彰
10年



岩田 進市君

2年



佐藤 弘夫君

5年



南村 朋幸君

1年



田中 健君

3年



三輪 慎一郎君

ポール・ハリス・フェロー表彰状謹呈



濱島 聡一郎君

地区大会PR



豊川RC 地区大会実行委員

安田 守一様、清水 宏臣様

幹事報告 -別紙-

幹事 尾関 育良君

祝 福

委員長 田岡 剛君

出席報告

委員 内田 吉信君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
56名	41名	15名	74.55%

ニコボックス

委員 内田 吉信君

○地区大会実行委員 清水宏臣様、安田守一様から頂戴しております。

豊川RC 清水 宏臣様、安田 守一様

○皆さま、非常にお暑いので体調には十分気をつけてお過ごし下さい。本日もどうぞよろしくお願い致します。

愛知友愛RC 小田 純也様

○地区出向者の皆様、地区出向者報告を宜しくお願い致します。

2025-26年度 地区大会実行委員 清水宏臣様、安田守一様 ようこそ江南ロータリークラブへ
愛知友愛ロータリークラブ 幹事 小田純也様 ようこそ江南ロータリークラブへ

沢田 昌久、中村 耕司、尾関 育良、佐藤 弘夫 各君

○本日、地区出向者報告をさせていただきます。よろしくお願い致します。

古田 嘉旦君

○地区出向者報告をさせていただきます。

片平 博己君

○本日、地区出向者紹介にて報告をさせていただきます。

三輪 慎一郎君

○7/23にtoi toi toiが1周年をむかえました。いつも、ご利用いただき、ありがとうございます。

山崎 博征君

○7/31(木) 沢田年度、古田嘉旦君、伊藤靖祐君、片平博己君、三輪慎一郎君、地区出向者紹介宜しくお願い致します。

2025-26年度地区大会実行委員 清水宏臣様(豊川RC)、安田守一様(豊川RC)、愛知友愛RC 幹事 小田純也様、ようこそ江南ロータリークラブへ

倉知 正憲、松岡 一成、富永 典夫、杉浦 賢二、伊藤 靖祐、浅野 安郎、岩田 静夫、長瀬 晴義、富田 清孝、木本 寛、岩田 進市、近藤 道磨

各君

卓話 「地区出向者報告」



ファシリテーター 古田 嘉旦君

ファシリテーターとして、地区へ出向しています古田嘉旦です。

どうぞよろしくお願いいたします。

ファシリテーター(Facilitator)には、協働促進者、進行促進者、支援者という意味があり、以前は、ディスカッションリーダー(DL)と呼んでいました。

既にご案内の通り、2023-24年度からRIは研修に関する名称を変更し、研修(training)からラーニングとなりました。

知識、情報を与えられる受け身の研修から積極的な学びへ、コミュニケーションの中に自ら情報収集、スキルを獲得することを目指しましょう、となりました。

まず、ロータリー会員がマイロータリーのラーニングセンターを利用して自習をする。

その自習で、「セミナー(意見交換会)」に出席しても困らないだけの情報・知識」を身につけたうえでセミナーに臨みます。

そして、セミナーで講師の話を聞くと、学びも大きくなり、今度はそのテーマで、他の参加者と意見交換をします。

そこで、気付きやインスピレーションを得ていきましょう、という流れです。

その意見交換の場で、学習しやすい環境を整え、学習しやすいように手助けをするという役割が、ファシリテーターになります。

話し合いを有効なものにするには、ファシリテーターの役割が重要で、知識と経験が必要になります。

そのため、地区ラーニング委員会では、ファシリテーターのスキルを上げるため研修に努めています。

第2760地区では、7月に行われるクラブ活性化セミナーと会長エレクト研修パートⅠ～Ⅲが、活動の場となります。

皆様には、色々とお世話になりますが、宜しくお願いいたします。



地区諮問委員会 委員、拡大委員会 委員、地区行動計画推進リーダー、ロータリー財団地域コーディネーター、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 評議員

伊藤 靖祐君

今年度出向のご報告をさせていただきます。拡大委員会に出向しております。メンバーは神野委員長、服部副委員長、籠橋委員と小役で全員パストガバナーです。委員会活動は地区のクラブ拡大を目的にしており、会員増強委員会と協同しております。新しいクラブを作っていくのがクラブ拡大で2018年2月岡崎RCが親クラブとして結成された愛知三州RCを最後に新クラブが結成されておりましたが、本年6月に名古屋名駅RCの衛星クラブとして名古屋名駅椿衛星ロータリークラブができました。拡大委員長の神野さんがご尽力され9名でスタートしております。拡大は一筋縄ではいきませんが、地道に情報収集して活動しております。

次に出向とは違いますが、国内役員として地域リーダーである第2地域ロータリー財団地域コーディネーターを務めています。RIが定める任期は3年今年がラストイヤーになります。地域リーダーはRIの指名で突然指名メールがきます。日本国内に水野R3理事(世界で17人の理事の一人)のもと、第1～3地域でそれぞれロータリー会員増強地域コーディネーター(RMC)、ロータリー公共イメージ地域コーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)の3人のリーダーがそれぞれの地域を担当しています。年度初に配られる国内役員リストには私も紹介され江南RCと紹介されており、全国に江南の名前が知れ渡りますのでとてもうれしく思っています。

RRFCはdutyが多く、毎年ロータリー研究会の付随プログラムとしてロータリー財団地域セミナーを開催します。また、DDFや年次基金ゼロクラブ・ゼロの管理をしており、年度末にはRIから催促されこまめな報告をしています。さらに重要なのはガバナーエレクト研修、ガバナーノミニー研修(共に1泊2日)の企画実行です。毎年東京で行いますので、ZOOMでの打ち合わせ、ホテルとの打ち合わせ、プログラムの作成と結構忙しい日々を送っています。



社会奉仕委員会(環境保全担当)副委員長

片平 博己君

ロータリークラブの地区社会奉仕委員会の役割は、地区内のロータリークラブが効果的な社会奉仕活動を行えるように支援することです。具体的には、社会奉仕活動に関する情報提供、成功事例の共有及びロータリー地域社会共同体(RCC)の設立支援など、地区全体の社会奉仕活動を活性化させる役割を担うことが本来の役割です。

しかしながら、クラブでの社会奉仕事業は、内容はその年度の会長が決めることが通例になっていたりと、継続事業を行うなどで決まっているクラブが多く、また補助金を利用しようとするため地区研修協議会や委員長会議で情報提供してもタイミング的に有効であるとは言えません。

だからというわけではないと思いますが、昨年までは、年に2回の社会奉仕委員長会議、RFFのブース担当、ローターアクト、インターアクト、米山奨学生、交換留学生を対象にした佐久島でのごみ拾いと海洋ごみについてのセミナーを行うなど、地区の社会奉仕委員会だから可能な他の委員会を巻き込んだ事業を実際に行ってきました。ただ、この活動方法が本来の地区社会奉仕委員会の役割であるのか、フィードバックする要素があるのかなど疑問の点が多く、模索状態であると思います。

地区社会奉仕委員会に出向して6年目、副委員長として4年目になります。

長く在籍しすぎたのかいろいろな弊害や矛盾点が目に付くようになってきたので、交替の申し入れしていましたが諸事情で今年も在籍することになりました。今年度は、地区及びクラブ、引いては地域社会に必要な役割とは何か、「何をするか」より前に「なぜそれをするのか」、「その目的は何か」を見つけ出すことを重点目標にして委員会に参加してまいりたいと思います。



RYLA委員会 三輪 慎一郎君

本年度は初めての地区出向となりますが、「RYLA委員会」と言う所に出向しております。

RYLA とは「Rotary Youth Leadership Awards」の略称で、日本語に訳すと、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」となります。

本年度は「縁と絆を深めよう」をテーマに、3月20日・21日の2日間に渡り、蒲郡商工会議所にて、「第34回地区RYLAセミナー」が開催されます。

このセミナーは、14歳～30歳の青少年を対象に、リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい、こんな事を考えている若い人々のためのプログラムです。80人程度の参加者を5～6のグループに分けて行われるのですが、私は今のところ、どのような内容なのか全く分かりません。

本年度のRYLA委員会は、ロータリアン12名とRYLA学友24名にて構成されており、RYLAセミナーを成功に導く為、月1回の委員会が開催されます。

RYLA学友とは、過去にRYLAセミナーを受講し、自分もスタッフとして参加したいと思い、無償で参加している志の高い若者の集まりです。社会人と大学生が中心ですが、中には高校生もいます。インターアクトやローターアクトからロータリーとの関りを持った子も多いみたいです。

セミナー当日も、RYLA学友がカウンセラーという立場で、セミナー全体を取り仕切り、ロータリアンはアドバイザーという立場で、フォローを行うというスタンスだと聞いています。

委員会の後に懇親会もあり、学友の子たちと話す機会もありましたが、RYLAセミナーへの思い入れが非常に強く、セミナーのクオリティを上げたい、成功させたいという思いがヒシヒシと伝わってきました。私もまだ何をしたら良いのかも分かりませんが、少しでも皆の力になりたい、頑張らなきゃという思いが湧いてきました。

また、現在ロータリーは危機管理について非常に厳しく、学友との関りも制限されております。学友は若い女性も多いので、パワハラ・セクハラにならないよう、適切な距離感を保ちつつ、問題を起こさないように1年間気を付けながら頑張りたいと思います。

本日の食事



会報掲示板



My ROTARY

※ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760 アプリダウンロードはこちら

江南 RC 会報 YouTube
チャンネル登録はこちら

(担当: 委員 伊藤 由香)